

**新潟市水道局検針及び水道料金等収納業務  
落札者決定基準**

**令和 6 年 1 0 月  
新潟市水道局営業課**

## 1. 本書の目的

この落札者決定基準は、新潟市水道局（以下「局」という。）が、「地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2」に定める「総合評価一般競争入札」により、「新潟市水道局検針及び水道料金等収納業務」（以下「本業務」という。）を委託する事業者を選定するにあたり、あらかじめ落札者を決定する基準を明確にすることを目的とする。

## 2. 落札者の決定を行う者

落札者の決定にあたり、次の【表 2.】に記載の職名にある者 6 名で構成する「新潟市水道局検針及び水道料金等収納業務事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、落札者及び総合評価落札方式による一般競争入札で必要な事項を決定する。

また、選定委員会の事務局は、総務部営業課が務める。

その他、選定委員会の設置に関して必要な事項は、「新潟市水道局検針及び水道料金等収納業務事業者選定委員会設置要綱」で別途定める。

【表 2. 選定委員会】

役割	職名
委員長	新潟市水道局 総務部長
副委員長	新潟市水道局 営業課長
委員	新潟市水道局 経営管理課長
委員	新潟市水道局 総務課長
委員	新潟市水道局 中央料金事務所長
委員	新潟市水道局 秋葉料金事務所長

## 3. 落札者の決定方法

選定委員会は、局から本件の入札参加資格を得た者（以下「入札参加者」という。）が、手続きに沿って適正に行った入札及び提案に基づき、価格に対する点数（下線部分を以下「価格点」という。）と提案書及びプレゼンテーションに対する点数（下線部分を以下「技術点」という。）をそれぞれ算出し、「価格点」と「技術点」の合計（下線部分を以下「総合評価点」という。）が最も高い者を本件の落札者とする、加算方式により決定する。

### 3.1. 配点

配点は、【表 3.1.】に記載のとおりとする。

なお、「価格点」及び「技術点」及び「総合評価点」の算出時に小数点以下があった場合は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを有効とする。

【表 3.1. 配点表】

区分	配点
価格点	120 点
技術点（提案書及びプレゼンテーション評価）	280 点
総合評価点	400 点

### 3.2. 価格点の算出方法

価格点は、入札参加者が適正に入札した入札書を開札した結果から、次の【表 3.2.】に記載した算出方法にあてはめて算出する。

なお、入札書に記載された入札価格が、予定価格（1,153,548,000 円）から消費税及び地方消費税を除いた金額（1,048,680,000 円）（なお、下線部分を以下「入札書比較価格」という。）を上回った場合は、その入札を行った入札参加者は失格となり、当該入札を無効とする。

【表 3.2. 価格点の算出方法】

区分	配点	算出方法
価格点	120 点	価格点の配点×(1－入札価格÷入札書比較価格)

### 3.3. 技術点の算出方法

別添 1「配点一覧表」の各評価項目の採点者は【表 3.3\_1.】のとおりとし、【表 3.3\_2.】に記載した 5 段階評価方法で評価点を算出するものとする。なお、配点に見合った技術提案を求める観点から、採点は相対評価ではなく絶対評価で行うものとする。

【表 3.3\_1. 別添 1 「配点一覧表」における各評価項目の採点者】

区分	評価事項	評価番号	採点者	配点
技術点	会社内容に関する事項	1	各選定委員	10 点
		2～3	事務局	20 点
	業務委託に関する事項	4～24	各選定委員	計 250 点

各選定委員が算出した評価結果（得点）の総和を選定委員の人数で除した点数に、事務局が算出した評価結果（得点）を加えた点数を技術点とし、選定委員会の承認をもって確定する。

【表 3.3\_2. 提案書評価基準】

評価段階	評価	各評価項目の提案評価点
5	特に優れている／十分期待できる	配点 × 1.0
4	優れている／期待できる	配点 × 0.8
3	標準／普通	配点 × 0.6
2	やや劣る／あまり期待できない	配点 × 0.4
1	劣る／不安である	配点 × 0.2

#### 4. その他

- 提案内容は、本業務委託契約の一部とする。ただし、仕様書を上位に位置付け、局が承認した提案内容を部分的に採用する。
- 総合評価点が最も高い者が2者以上となった場合には、技術点が高い者を落札者とし、技術点も同じくなる場合には、くじにより落札者を決定する。
- 本書の記載にない事項が生じた場合は、選定委員会で協議したうえで、委員長が決定する。